

第31回 公定歩合のシナリオ調査

平成14年(2002年)冬号
上田八木短資株式会社

(調査日12/13~12/19、発表日12/20)

調査件数 100(インターバンク 69、オープン 9、レポ 22)

公定歩合の変更に関するアンケート結果

定形パターン

1. 来年1-3月に公定歩合の変更について

利上げがある	0%
変更なし	99%
利下げがある	1%
DI	1%

2. 来年4-6月について

利上げ	0%
変更なし	99%
利下げ	1%
DI	1%

3. 来年7-9月について

利上げ	0%
変更なし	100%
利下げ	0%
DI	+0%

4. 来年10-12月について

利上げ	0%
変更なし	100%
利下げ	0%
DI	0%

* DI = 「利上げがある(%)」 - 「利下げがある(%)」で表しています

シナリオパターン

1. 来年1-3月に公定歩合の変更について

なし	なし	なし	なし	98%
下げ	なし	なし	なし	1%
なし	下げ	なし	なし	1%

過去の調査時における各四半期の予想値推移

来年1-3月期の変更について

調査時期	02年春	02年夏	02年秋	02年冬
利上げあり	3%	1%	0%	0%
変更なし	97%	99%	98%	99%
利下げあり	0%	0%	2%	1%
DI	+3%	+1%	2%	1%

(今回)

来年4-6月について

02年夏	02年秋	02年冬
4%	0%	0%
96%	100%	99%
0%	0%	1%
+4%	+0%	1%

(今回)

来年7-9月

02年秋	02年冬
2%	0%
98%	100%
0%	0%
+2%	+0%

(今回)

来年10-12月

02年冬
0%
100%
0%
+0%

(今回)

量的緩和政策の変更に関するアンケート結果

定形パターン

1. 来年1-3月に量的緩和政策の変更について

引き締め方向	1%
変更なし	48%
更なる緩和方向	51%
DI	50%

2. 来年4-6月について

引き締め方向	0%
変更なし	71%
更なる緩和方向	29%
DI	29%

3. 来年7-9月について

引き締め方向	0%
変更なし	89%
更なる緩和方向	11%
DI	11%

4. 来年10-12月について

引き締め方向	0%
変更なし	92%
更なる緩和方向	8%
DI	8%

* DI = 「引き締め方向(%)」 - 「更なる緩和方向(%)」で表しています

シナリオパターン

	1. 来年1 - 3月に量的緩和 政策の変更について	2. 来年4 - 6月について	3. 来年7 - 9月について	4. 来年10 - 12月について (シェア)
緩和	なし	なし	なし	36%
なし	なし	なし	なし	29%
なし	緩和	なし	なし	16%
緩和	緩和	なし	なし	6%
緩和	緩和	緩和	緩和	5%
緩和	なし	緩和	なし	3%
緩和	緩和	なし	緩和	1%
なし	緩和	緩和	緩和	1%
なし	なし	緩和	緩和	1%
なし	なし	緩和	なし	1%
引締め	なし	なし	なし	1%

過去の調査時における各四半期の予想値推移

来年1 - 3月期の変更について

調査時期	02年春	02年夏	02年秋	02年冬
引き締め方向	9%	4%	0%	1%
変更なし	85%	84%	68%	48%
更なる緩和方向	6%	12%	32%	51%
DI	+3%	8%	32%	50%

(今回)

来年4 - 6月について

	02年夏	02年秋	02年冬
引き締め方向	8%	0%	0%
変更なし	92%	93%	71%
更なる緩和方向	0%	7%	29%
DI	+8%	7%	29%

(今回)

来年7 - 9月

	02年秋	02年冬
引き締め方向	1%	0%
変更なし	93%	89%
更なる緩和方向	6%	11%
DI	5%	11%

(今回)

来年10 - 12月

	02年冬
引き締め方向	0%
変更なし	92%
更なる緩和方向	8%
DI	8%

(今回)

「量的緩和政策の変更」で考えられる日銀の手段

* 「量的緩和政策の変更」有りとは回答された方のみ(複数回答)

	今回	前回
「当預15～20兆円」の変更(増額)	延べ28名	延べ11名
国債買切オペ増額	延べ39名	延べ24名
CP等オペ適格範囲の拡大	延べ9名	延べ6名
社債、CP、株式、投信等の買切り	延べ6名	延べ12名
インフレターゲティングの導入	延べ10名	延べ5名
その他		
買手オペの期間延長	ゼロ	延べ1名
ロンバート型貸出の日数制限撤廃	ゼロ	ゼロ
交付税特会証書の担保掛け目100%化	ゼロ	延べ1名
日本証券金融の資金強化	ゼロ	延べ1名
ウルトラ「C」	延べ5名	延べ1名

今回の「日銀の次の一手」に関するアンケートでは、これまで可能性有りとなされた案が実現されてきたこともあったか、その他に新たなご意見が出難かったようでした。ただ、今回のアンケートでも、その他のなかにウルトラ「C」という表現が1名と、「何かは判らないが何らかの緩和策はやってくる」というご意見が少なくとも4名いらっしゃいました。この4名の方はウルトラ「C」に集約させて頂きましたが、インタビューアの感じではさらにいらした模様です。

アンケート調査にご協力ありがとうございました